



# 第17回 日本核医学会春季大会

## 特別講演会2

講演 1 渡部 直史様 (厚生労働省 医政局地域医療計画課)

### 医療法によるRI規制と最近の核医学関連の動向

医療法では、医療機関における診療用放射性同位元素の利用について、適切な取扱いとなるように規制を行っている。一方、核医学における新たな放射性薬剤の導入や技術の発展に合わせて、規制側も適切に対応していくことが求められている。特にRI内用療法においては、退出基準等の安全管理に注意を要するが、規制が医療機関にとって過度の負担とならないようにバランスを考慮する必要がある。本講演では核医学診療に関係する規制の現状と最近の動向について、現在の取り組み内容を含めてわかりやすく紹介する。

講演 2 大井 賢一様 (特定非営利活動法人がんサポートコミュニティー)

### 共通の敵“がん”とどう向き合うか? —核医学への期待—

がんと向き合う人たちが期待しているのは、がんを的確に捉え、最適で効果的な治療を提供する医療である。Theranosticsという言葉が意味するように核医学には個別化医療への潜在的な可能性と期待が高い。市民が対峙すべき敵は“がん”である。その共通認識のもと、学術団体・業界団体・患者支援団体は2016年末に核医学診療推進国民会議を設立、より良いがん医療環境をめざし、市民による草の根運動として取り組もうとしている。共通の敵“がん”と向き合うとき、核医学への期待について市民の立場から論じる。

日時 2017年4月23日(日) 12:00~13:00

会場 A会場(秋葉原UDX 4F)  
第3会場「NEXT 1」

司会 藤井 博史先生 (国立がん研究センター)

開会の挨拶 畑澤 順先生 (日本核医学会理事長 大阪大学大学院医学研究科)

受付/特別講演会2は受講券を配布いたします。

【配布場所】:A会場 秋葉原UDX4階「ギャラリーネクスト」内 参加受付付近カウンター

【配布時間】:4月23日(日)8:30~11:30

※受講券は配布時間内であってもなくなり次第、配布終了となります。

※受講券は特別講演会2開始と同時に無効になりますので、開始時刻までに会場へお越しください。